

発端は一九八五年のチェルノブイリ原発事故を受け、「放射能の被害から子どもたちを守りたい」と願う5人の親の運動から始まりました。



ドイツ・シエーナウの市民所有の電力会社（EWS）の裏庭の壁に描かれていた絵。今ではドイツの全国16万世帯と契約を結び、原発電源ゼロの電力を供給しています。

始めてみませんか 自然エネルギー

2017年原発ゼロの会・大阪自然エネルギー連続講座

原発ゼロの会・大阪は、原発をなくす運動とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギーの推進を“車の両輪”と位置づけ、重視して取り組んでいます。今回、大阪での自然エネルギー推進の取り組みを一步でも前進させるために、「自然エネルギー連続講座」を開催します。

自然エネルギーに関心をお持ちの方・グループ、自分も何かやってみたくて考えておられる方など、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます

■連続講座の趣旨とすすめ方

- ①地域・グループ・個人、事業所で自然エネルギーを推進する運動や取り組みが具体的に一步前進することを目指して、自然エネルギーについて体系的に学ぶことを目的に開催します。
- ②事前に関連する取り組みの現地視察・見学会を行い、具体的な取り組みを見たうえで講座に参加できるように工夫します。（講座だけ、視察・見学会だけ、飛び飛びの参加もOKです）
- ③講座は、講師の報告とともに実際の取り組みや現地見学会の報告なども行い、質疑応答や経験交流、フリー討議を行いながら、内容を深めていくようにします。

原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会（原発ゼロの会・大阪）
協賛 日本科学者会議大阪支部 自然エネルギー市民の会 自然エネルギーねやがわ市民の会

自然エネルギー連続講座

第1講

5/31 (水) 午後6時30分～

会場 大阪民医連会議室

再生可能エネルギー中心 社会の実現に向けて

講師 和田 武 さん
(自然エネルギー市民の会代表)

●主な内容 自然エネルギー・再生可能エネルギーの世界的動向から、自然エネルギーを進めるうえで欠かせないFITや電力自由化など日本の電力制度についてもお話していただきます。

第2講

6/28 (水) 午後6時30分～

会場 大阪民医連会議室

太陽光発電所づくりのすすめ方

①仕組みと注意点、自宅につける場合は…

講師 林 敏秋 さん
(《株》エコテック代表取締役)

②市民共同発電所の立ち上げ方

講師 中村 庄和 さん
(自然エネルギー市民の会事務局次長)

●主な内容 太陽光発電の仕組みや家庭でつける場合の注意点・価格などとともに、“市民共同発電所”を何か所も手がけた経験をもとに、市民共同発電所の作り方などについてお話していただきます。

第3講

7/26 (水) 午後6時30分～

会場 大阪民医連会議室

木材や食品残渣などを活用 してのバイオ発電

①真庭市での木質バイオの取り組み

講師 岡崎 陽輔 さん
(恵庭市会議員)

②廃食油の資源としての活用

講師 松田 将英 さん
(河内長野市・株式会社マツダ代表)

●主な内容 間伐材や木造住宅の廃材を活用しての木質バイオ発電、使い古した食油を活用しての食品バイオ発電について、既の実践されている自治体や企業の方にお話ししていただきます。

第4講

9/27 (水) 午後6時30分～

会場 大阪民医連会議室

地下熱や太陽熱を利用した 省エネ施設・省エネ住宅

①地下熱を利用した大型施設の冷暖房

講師 山崎 隆一 さん
(サンポット大阪営業所所長)

②OMソーラーによる省エネ住宅

講師 山本 容子 さん
(東淀川区・山本博工務店)

●主な内容 体育館や福祉施設など大型建物に地下熱を利用するシステム、OMソーラーなど住宅に太陽熱を活用するシステムなど、地下熱・太陽熱利用の省エネ施設・住宅について学びます。

第5講

10/25 (水) 午後6時30分～

会場 大阪民医連会議室

小川や農業用水を活用して の小水力発電

①奈良県吉野での小水力発電

講師 森田 康照 さん
(東吉野小水力株式会社代表取締役)

②岐阜県・石徹白などの小水力発電

講師 原発ゼロの会・大阪
エネルギー部会

●主な内容 小水力発電についてのイメージをつかむために、奈良県吉野で小水力発電を立ち上げた経験、全国的にも注目される岐阜県の石徹白の小水力発電の視察などの報告を行います。

第6講

11/22 (水) 午後6時30分～

会場 大阪民医連会議室

大阪のような都市・近郊 での風力発電とは

①都市・近郊での風力発電

講師 金子 憲一 さん
(大阪府立大学)

②小型風力発電を作成して

講師 中村 能幸 さん
(東大阪金属加工グループHIT)

●主な内容 都市・近郊での大型風力発電は騒音や低周波問題などがあって無理です。ここでは都市・近郊でも活用できる小型風力発電の仕組みや活用法、メリットなどについて学びます。

現地視察・見学会

第1回

5/27(土) 午前10時30分～午後4時

木質バイオ・食品バイオの実際

- ①株式会社マツダ
(河内長野市小山田町5365-23)
- ②クリーンエネルギー奈良・吉野発電所
(奈良県吉野郡大淀町大字馬佐383-3)

●**主な内容** 使用後の食油を活用して発電を行っている河内長野市の株式会社マツダ、間伐材など木材を使っての木質バイオを行っている奈良県大淀町の吉野発電所を見学します。

●**集合時間と場所** ゼロの会が用意する車で行かれる方は、午前9時30分までに大阪民医連前にお集まりください。直接行かれる方は、午前10時30分までに株式会社マツダまでお越しください。

●**見学費** クリーンエネルギー奈良・吉野発電所の見学受け入れ規定では、見学料は1人2,000円、受け入れ人数は10名から30名となっています。申し込みを締め切った段階で実行するかしないかを判断することになりますのでご了承ください。

第2回

6/24(土) 午後1時30分～午後5時

太陽熱を利用した省エネやエコな住宅への様々な工夫

- ①山本博工務店
(大阪市東淀川区豊里7-26-7)
- ②町田工務店・花博住宅展示場
(大阪市鶴見区焼野1丁目南2番)

●**主な内容** 太陽熱利用システムであるOMソーラーを実践している家、漆喰・無垢材などを使用して省エネに取り組む住宅などを、工務店の事務所・モデルルームなどを通じて学びます。

●**集合時間と場所** ゼロの会が用意する車で行かれる方は、12時30分までに大阪民医連前にお集まりください。直接行かれる方は、午後1時30分までに山本博工務店までお越しください。

第3回

7/20(木)～7/21(金)

小川や農業用水路を活用しての小水力発電

- ①加子母清流発電所
(岐阜県中津川市加子母(かしも)地区)
- ②石徹白農業用水農協
(岐阜県郡上市白鳥町石徹白(いとしろ))

●**主な内容** 中山間地域の落差68mの清流を活用している加子母清流発電所、農業用水を活用する小水力発電を試行錯誤して取り組み事業化するまでになった石徹白の小水力発電を視察します。

●**集合時間と場所** ゼロの会が用意する車でいきますので、参加される方は7月20日(木)の午前8時までに大阪民医連前にお集まりください。20日夜は石徹白の民宿に泊まります。

第4回

9/20(水) 午後1時～午後5時

大阪のような都市・近郊での風力発電

- ①ビバモール寝屋川
(寝屋川市寝屋南2-22-2)
- ②株式会社マザーズの風力発電と工場
(東大阪市西堤本通西1-7-12)

●**主な内容** 風力発電と太陽光発電をハイブリッドで活用しているショッピングモールと東大阪市の市役所、マザーズの発電機制作現場を見学します。

●**集合時間と場所** ゼロの会が用意する車で行かれる方は、12時までには大阪民医連前にお集まりください。直接行かれる方は、午後1時までにビバモール寝屋川までお越しください。

自然エネルギー連続講座の会場

大阪民主医療機関連合会



大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 2 階
 ※最寄りの駅は、大阪市営地下鉄堺筋線・中央線の「堺筋本町駅」で、⑨または⑭出口から徒歩 3 分です。

エル・おおさか (府立労働センター)



大阪市中央区北浜東 3-14
 ※京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ約 300 メートル、京阪・地下鉄北浜駅より東へ約 500 メートルです。

《お願い》
 連続講座の会場は大阪民医連としていますが、民医連の都合で使えない場合は府立労働センターで行います。その場合は受講者に事前に連絡します。

参加費・申し込み方法など

■ 連続講座

- 参加費 1 回 500 円。
5 回以上参加する方は 2500 円。
- 申し込み方法 下記申込書に必要事項を記入の上、5 月 10 日 (水) までに FAX かメール、郵送などでお申し込み下さい。

■ 現地視察・見学

- 参加費 1 回 500 円
 なお、ゼロの会用意の車を使つての交通費や石徹白の見学に伴う宿泊費などは実費とします。
- 申し込み方法 連続講座と同じ。下記申込書で 5 月 10 日 (水) までにお申し込み下さい。

申し込み先

原発ゼロの会・大阪 事務局

〒540-0026 大阪市中央区南本町 2 丁目 1 番 19 号 内本町松屋ビル 10 370 号
 大阪から公害をなくす会 気付 電話 06-6949-8120
 FAX 06-6949-8121
 メールアドレス info@genpatsuzero-osaka.com

参加申し込み書

コピーして、FAX・メール・郵送などでお送りください。

お名前						
団体名 またはご住所						
電話番号				携帯番号		
メールアドレス						
参加講座 (○印を)	第 1 講 (5 月 31 日)	第 2 講 (6 月 28 日)	第 3 講 (7 月 26 日)	第 4 講 (9 月 27 日)	第 5 講 (10 月 25 日)	第 6 講 (11 月 22 日)
参加視察 (○印を)	第 1 回 (5 月 27 日)	第 2 回 (6 月 24 日)	第 3 回 (7 月 20 日~21 日)	第 4 回 (9 月 20 日)		
交通手段 (○印を)	「会」用意の車 自前		「会」用意の車 自前		「会」用意の車 自前	